# しものせき Port News

2021 winter

令和3年12月 Vol.21

国土交通省九州地方整備局下関港湾事務所広報誌 しものせきポートニュース

## **Contents**

下関港新港地区(長州出島)

国際クルーズ拠点整備事業の進捗状況

下関港海岸 (山陽地区)



## **下関港新港地区(長州出島)**

## 国際クルーズ拠点整備事業の進捗状況

## (床掘作業)

令和3年12月上旬、新港地区に整備する岸壁本体のケーソンを据 える基礎地盤を築造するための床掘作業(グラブ浚渫船を用いて海底 を硬い支持層まで掘る作業)を行いました。

翌年1月には床掘した箇所へ基礎捨石を投入し、4月に予定する ケーソン据付の準備を進めて行きます。

なお、各工事の位置出し・測量にあたってはGNSS※「管理システム を使用したICT施工※2を行っています。

> ※1 GNSS: Global Navigation Satellite System:人工衛星を利用した全世界測位システム ※2 ICT施工:ICT(情報通信技術)を活用した工事の施工

#### - 作業の流れ



①床掘を行う前に、磁気異常物(機 雷・砲弾、不発弾等) がないか確認 するための潜水探査を行います。



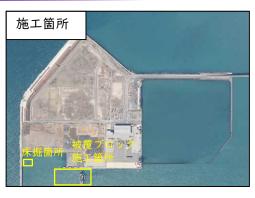
④床掘中のグラブ位置と掘跡は、画面 上に映し出されるため、出来形を確 認しながら次の作業に移行できます。

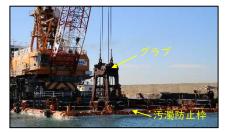


②グラブ浚渫船の杭(スパッド)を海底 に刺して位置を固定し、海底の土砂 をグラブで掴んで床掘を行います。



⑤掘った土砂はグラブ浚渫船に横付け する土運船へ積み込みます。





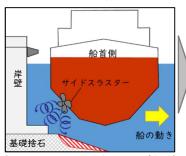
③床掘の際は、汚濁防止枠にカーテン を取り付けて掘ることにより、濁り の拡散を防ぎます。



⑥土運船を揚土場所まで運び、掘った 土砂をリクレーマ船(揚土船)で陸 揚げします。

### (被覆ブロック製作)

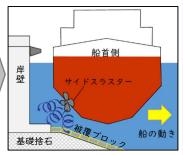
大型クルーズ船が離岸する際、船のサイドスラス ター(船体を横移動させるためのスクリュー)の回転 により岸壁を支える基礎捨石が洗掘されるのを防止す るために、被覆ブロックを設置します。



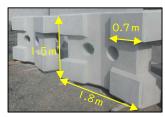
船のスクリューの回転による洗掘で



設置予定の被覆ブロック



被覆ブロックを設置し洗掘を防止



被覆ブロックは | 個あたり2トン

## みなとで働く女性技術者!

被覆ブロックの製作を行った(株)コプロスでは、2 名の新人女性技術者が活躍中です。そこで、現場での 様子について、インタビューを行いました。

Q1. 初めての土木工事の仕事はどうでしたか? 初めての工事現場で「3K」のイメージもあり、緊 張していましたが、周りの方に優しく丁寧に仕事を教 えて頂き、積極的に現場に出たいと思いました。

Q2.仕事をするうえで一番大切にしていることは? コミュニケーションがとても大切だと感じました。 また、命に係わる仕事なので最後まで手を抜かないよ うに心がけています。今はまだ一人で出来る仕事が少 ないですが、自分がいなきゃダメと思って頂けるよう な戦力になりたいです。

Q3. 土木技術者を目指す女性に一言。 自己成長を高めたい方にはこの業界が 向いていると思います。

皆さんが思っているより、優しく丁寧 に仕事を教えてくれるので、怖がらなく て大丈夫です。一緒に前向きに頑張って いきましょう!



円城寺さん、林さん

## 下関港海岸 (山陽地区)

### 20・21工区整備概要

20・21工区背後の長府港町、長府松小田本町周辺では、過去の高潮により工場の操業停止や家屋の浸 水などの大きな被害が発生しました。そこで、20工区ではブリヂストン下関工場の前面の護岸の嵩上げ工 事を進めており、21工区では新川水門及び20工区と接続する胸壁・陸閘の工事を進めております。

#### <位置図>



#### <20工区>



20工区全景

工場敷地と海が隣接するため、海側 にL型ブロックを据付け、高潮による 海水の浸水を防ぎます。



L型ブロック据付

護岸本体の一部となるL型ブロックを土 留壁背後に据付けます。

#### <21エ区>



型枠組立て

鉄筋組立後、コンクリートを打設するため の型枠を組立てます。



コンクリート打設

組み立てられた型枠内にコンクリートポ 高潮による海水の浸水を防ぐため、胸壁 ンプ車にてコンクリートを打設します。



21工区全景

(コンクリートの壁)と車両などの出入り が可能な陸閘(開閉可能な門扉)を作ります。

## みなとの歴史探訪 ~幕末の志士を支えた商人 白石正一郎の足跡~

白石正一郎 (1812年~1880年) は、下関 竹崎浦(現:竹崎町)の回船問屋「小倉屋」の長男として生まれ、国学に 深い関心を持ち、高杉晋作、西郷隆盛、坂本龍馬など総勢400名を超える藩内外の志士たちを豊富な財力 で支援した勤王商人です。西郷隆盛が正一郎のことを「温和で清廉実直な人物」と書き記すなど、維新の 隠れた功労者と称されており、また、当時の活動を克明に記した「白石正一郎日記」でも知られています。

幕末の下関港は、北前船や九州各地の物資が集まる商港として大いに発展し、小倉屋は清末藩(長州藩の 孫藩)や薩摩藩の御用商人として各藩を結ぶ交易を請け負っていました。正一郎は志士達の世話や資金援助 を行い、白石邸は尊王攘夷運動に関する情報交換の拠点や潜伏先として活用されました。

特に、高杉晋作による1863年の奇兵隊結成に際しては、白石邸を本拠地として提供し、正一郎自身も弟 とともに入隊し会計方を務めました。こうした多大な財政支援の結果、維新後に小倉屋の経営は傾くこと となり、正一郎は商売からは身を引き赤間神宮の二代目の宮司を務めながら静かに余生を送りました。



白石正一郎旧宅跡(下関市竹崎町)



白石正一郎邸門(下関市松小田本町)

## 白石正一郎邸浜門

白石邸の海側に面する門は「浜 門」と呼ばれ、人目につきにくいこ とから、多くの志士は船で「浜門」 から出入りしていました。

当時、白石邸は下関市竹崎町にあ りましたが、浜門は下関市長府松小 田本町に移築・保存されています。

## トピックス

## 官民合同レディースパトロールの実施

10月27日に現在工事中の下関港海岸9工区にて、本事務所と関門港湾建設(株)の女性職員による合同 安全パトロールを実施しました。関門港湾建設(株)では、月に一度、女性目線での快適な現場づくりの一 環としてレディースパトロールを実施しており、本事務所では今回初めての取組です。現場事務所やエ 事現場、快適トイレなどのパトロールを行い、その後のミーティングでは「今回の現場を見た限り3Kの イメージはない」など活発な意見交換が行われました。本事務所では今後も継続化していく予定です。



現場にて工事の説明



快適トイレの見学



事務所でのミーティング

### カイキョーソトアソビの開催

10月29日~11月28日に「カイキョ―ソトアソビ(主催:下関市海峡エリア賑わい創出実行委員 会)」が開催されました。この取組は火の山公園や海峡沿いの魅力的な自然を感じながら、海峡エリア の魅力を再発見することを目的としています。あるかぽーと会場ではキャンプ体験、オモシロ自転車、 釣り体験教室など、火の山会場ではアスレチック、ツリークライミングなどのアクティビティが開催さ れ、連日会場には子どもたちの歓声が響き、秋のウォーターフロントに新たな彩りを添えていました。



キャンプ体験 (あるかぽーと)



オモシロ自転車(あるかぽーと)



※写真:海峡エリア賑わい創出実行委員会提供

## 梅光学院大学での出前講座

下関市の梅光学院大学のPBL (Project-based learning/課題解決) 型ゼミ(伊藤 道彦教授)では、文学部国際ビジネス専攻の3年生など 14名が地元建設企業を訪問し、建設業の魅力を伝える映像クリップを 作成するなど、社会的な要請に応えることの大切さを学ぶ授業を行って います。今回、土木・建築業界の基礎を学ぶため古屋所長より「下関港 とインフラ」と題した出前講座を実施しました。学生の皆さんは熱心に 聴講されており、特に下関港の埋立ての変遷に関心を寄せられていまし た。今後のゼミ活動の充実につながることを願っています。



出前講座のようす

#### みなとで体験・学習しませんか?

下関港湾事務所では、みなと見学会や 出前講座を行っています。お気軽に総務課 までお問い合わせください!





# 国土交通省 九州地方整備局

〒750-0066 山口県下関市東大和町2丁目29-1 TEL(083)266-3291 FAX(083)261-1123 HPアドレス https://www.pa.qsr.mlit.go.jp/shimonoseki/

「海と港の総合窓口」 全国共通フリーダイヤル 安付時間:9:30~12:00と13:00~17:00(土・日・祝を除く)

ご意見・ご感想をお聞かせください。

